

渡良瀬遊水地におけるイノシシ対策について

○令和7年度は、前年度末推定生息数（1,044頭）の半数程度を捕獲する目標（520頭）を掲げ、渡良瀬遊水地に隣接する4県による協議会及び周辺6市町で捕獲強化に取り組み、目標を上回る638頭の捕獲を達成した。その結果、年度末推定生息数は940頭となり、増加から減少に転ずることができた。

○令和8年度は、更なる大幅な減少に向け、生息数の約8割となる750頭を捕獲する高い目標を掲げ、わな設置期間の延長などより一層の捕獲強化に取り組む。

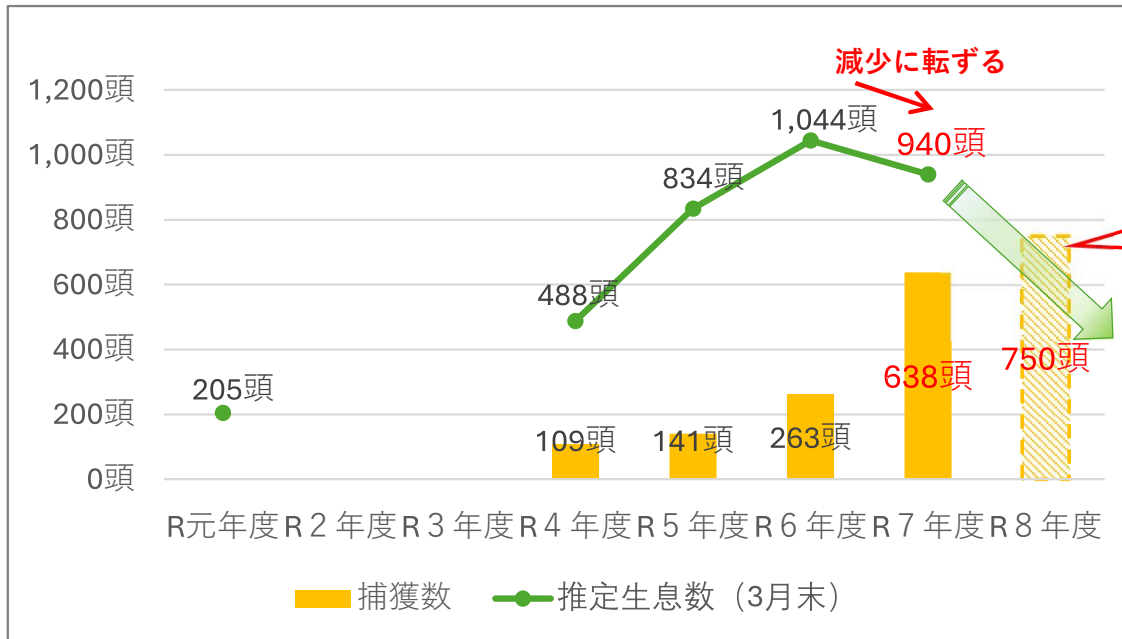
■ これまでの経緯

平成23年頃に渡良瀬遊水地にイノシシが侵入
 近年急増し、農業被害や人身被害が増加



- ・R4年度 隣接する4県（栃木県、茨城県、群馬県、埼玉県）による協議会を設立
- ・4県協議会及び周辺6市町（栃木市、小山市、野木町、古河市、板倉町、加須市）で捕獲を推進
- ・R7年度 渡良瀬遊水地イノシシ対策プロジェクト会議を設置※

■ 推定生息数及び捕獲数の推移



※4県協議会及び周辺6市町に加え、環境省関東地方環境事務所、国土交通省利根川上流河川事務所、渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団を構成員とする会議：生息数等の情報共有、実効性ある対策の検討

令和8年度捕獲目標(750頭)

- ・4県協議会：350頭(令和7年度捕獲数の約1.48倍)
- ・周辺6市町：400頭(令和7年度捕獲数の約1.00倍)

捕獲目標750頭達成することでさらに減少
 高い捕獲目標を継続し、数年後には大幅な減少に追い込んでいく

【R8.5.13 渡良瀬遊水地イノシシ対策プロジェクト会議を開催】

- ・令和7年度捕獲数・年度末生息数等の情報共有
- ・令和8年度捕獲目標の確認



会議開催後に令和7年度末推定生息数及び捕獲目標等について公表

■ 令和8年度取組内容

(下線：新規取組)

実施主体	取組内容
4県協議会	<u>わな設置期間の延長</u> （出水期前の設置、出水期後の設置開始時期前倒し）・ <u>新規囲いわなの導入</u>
栃木県事業	<u>新たな捕獲手法の検証</u> （ハンティングドローンによる追い込み、エサによるシャープシューティング）
周辺6市町	年間を通じた捕獲の実施

【4県協議会による捕獲予算の増】
 R7: 2,500万円
 → R8: 4,000万円